

03 CONTROLLER REPLACEMENT

制御装置リプレイス

お客さまのニーズに合わせた各種制御装置、監視装置を提供いたします。
汎用シーケンサを使用し、従来はメーカーに依頼していた工事を西プラで対応
いたします。西プラは、お客さまとタッグを組んで**メーカーに頼らない保全**を
実現します。



POINT

自社解決・自社保全で安心！

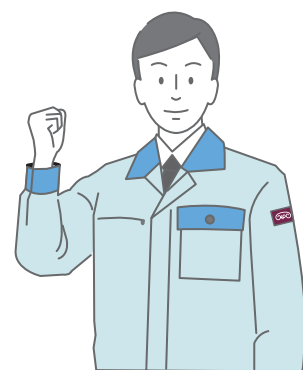
「設備に不具合があるので調整したい」「設備を改造したい」…そんな時



今までは
メーカーを
呼ぶしかない



これからは
自社で解決！



保全が抱える問題点

- ✓ブラックボックス化され自分たちでは扱えない。
- ✓既設の設備メーカーへ依頼するとコストが高い。
- ✓建設当時のメーカーの撤退、技術者の退職など
で対応や今後のメンテナンスに不安がある。

お客さまとともに
自社保全！

汎用シーケンサを使用するメリット

お客さまの多様なニーズに対応できます！

低コストで
設備を構成

+

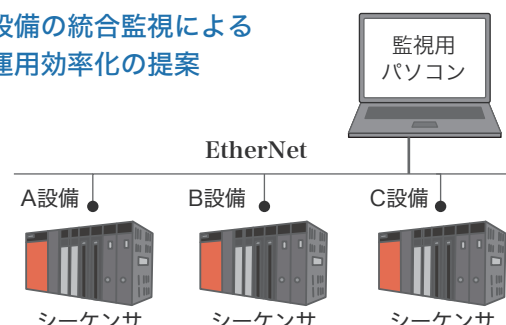
故障時も
迅速な対応が可能

+

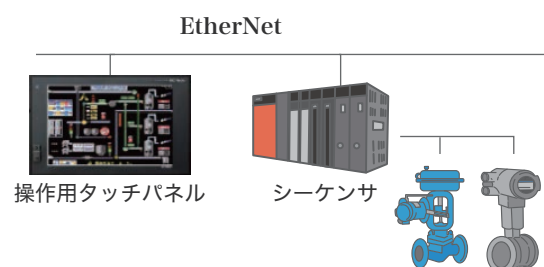
メンテナンスも
お客さま自ら対応可能

(西プラもサポートいたします)

設備の統合監視による 運用効率化の提案



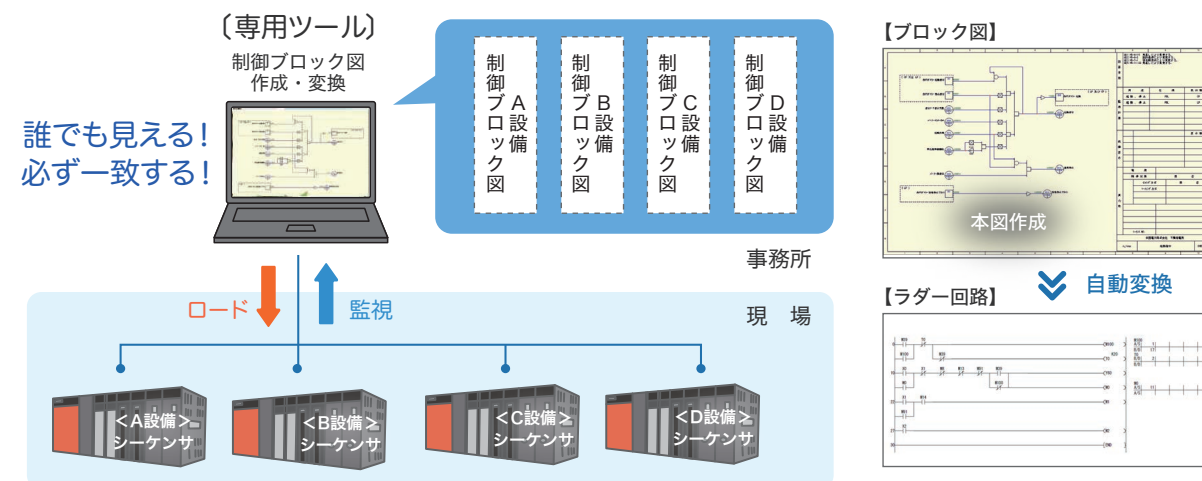
シーケンサを用いたループコントロールの提案



CFOLETシステムのご紹介

CFOLETとは、パソコン専用ツールで制御ブロック図を作成することで、シーケンサプログラムに
自動変換するシステムです。

CFOLETは専門の知識がなくても大丈夫！



従来手法との比較	従来手法	CFOLET
回線上の 問題発生時	原因究明に時間がかかる ラダーの知識を持った人が限られるため、直ぐには対応出来ない場合があります。	監視画面での解析が可能 ブロック図が理解出来れば、監視・調整画面にて原因究明が可能です。
保 守	ラダー回路とブロック図の不一致 パラメーター変更を含むラダー回路の変更を行った場合、都度ブロック図（原図）に反映する必要があるため、反映漏れの可能性があります。	ラダー回路=ブロック図 専用ツールを使用している限り、常に原図とラダー回路は一致しているため、反映漏れを心配する必要はありません。
技術伝承	技術伝承に時間がかかる 回路を見るためにはラダー回路の知識が必要となるため、別途講習を受けるなどラダーの技術を習得する必要があります。	技術伝承を意識しなくて良い 特に必要な専門技術はありません。（ブロック図が分かれば可能）

設備更新の流れ

01

既設設備の調査
お客さまのニーズ、
問題点の把握
更新内容の仕様書
作成、お見積り

02

基本設計
詳細設計
ソフト製作

03

シミュレーション
社内試験
お客さま立会試験

04

現地改造工事
セットアップ
試運転調整